OWNER'S MANUAL

Companion® 2 series II multimedia speaker system

取扱説明書

この度はCompanion® 2 series II multimedia speaker systemをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

△記号は行為を促す内容を告げるものです。(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

 警告	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●ACコード、スピーカー接続ケーブルが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	 水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	 使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●表示された電源電圧(AC100〜240V 50/60Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警告

- ●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。
- ●ACコード、スピーカー接続ケーブルの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。また壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
- ●この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

- ●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- ●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ●ACコード、スピーカー接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注意

- ●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ●ACコード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影 響を与え、火災・感電の原因となることがあります。
- ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- ● 万一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてください。
- ●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や 故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談 ください。
- ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ●定格を超える入力を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ●お子様がポートに、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
- ●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に 悪い影響を与えることがあります。
- ●シンナー、ベンジン、アルコール類などの揮発性の薬品やその他化学物質、クレンザーなどで製品をふかないでください。破損、変質、変色、塗料のはがれや表面に傷を付ける原因となります。またスプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

目　次

音のエチケット

●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

あなたが放送やCD、テープまたはビデオディスクやその他市販のソフトから録音や録画したものは、個人で楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用することはできません。

特　長

●クリアで広がりのあるサウンドを可能にする独自のフロントバッフルデザイン

フロントバッフルを後方に15度傾けた独自のデザインを採用。デスク上で特定の周波数が反射し、音の濁りの原因となる「バウンダリー現象」の影響を排除し、クリアで奥行きのあるサウンド再生を可能にしています。

●ニアフィールド・リスニングを革新するTrueSpace®ステレオデジタル処理回路

ボーズ独自のTrueSpace®ステレオデジタル処理回路を採用。デスクトップという至近距離でのリスニング環境でも、豊かな臨場感と音場感を創出します。

●小音量時でも迫力のサウンドを生み出す独自回路

ボリュームを絞っても、最適な音響バランスに自動調整する独自回路を搭載。夜間など小音量での使用時でも低音不足を感じさせない、自然で力強いサウンドをお届けします。

●サイズを超えた豊かな重低音を再生する新設計のロングポート

独自形状のロングポートを背面に配置。歪み成分やポートノイズを抑制し、コンパクトなサイズからは想像しがたい、クリアで迫力ある重低音を再生します。

スピーカーの防磁について

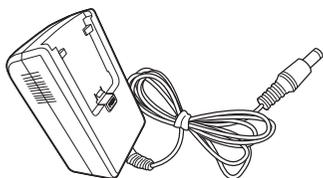
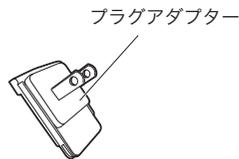
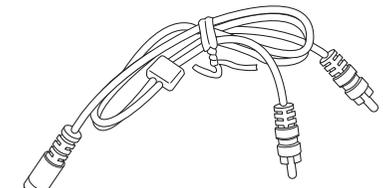
●このスピーカーは、防磁型になっています。通常のスピーカーは、ブラウン管テレビやモニターなどに近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合がありますが、このスピーカーシステムはテレビやモニターなどへの近接設置の可能なスピーカーです。ただし、テレビやモニターなどへの設置のしかたによっては、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーを十分に離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーをさらにテレビから離してご使用ください。

本体のお手入れについて

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますので絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

開梱時のご注意（付属品について）

付属品を確認してください

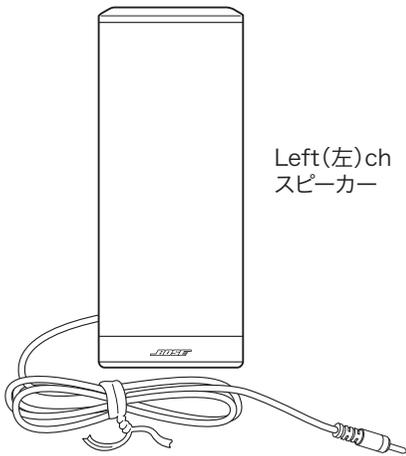
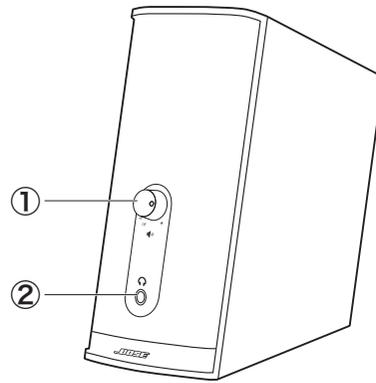
カートンケースとパッキング類は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

ACパワーパック

ステレオミニプラグ付き
オーディオケーブル×1本（1.1m）

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

⚠注意

製品のゴム足について

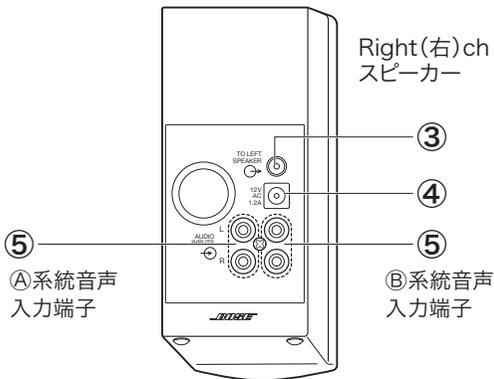
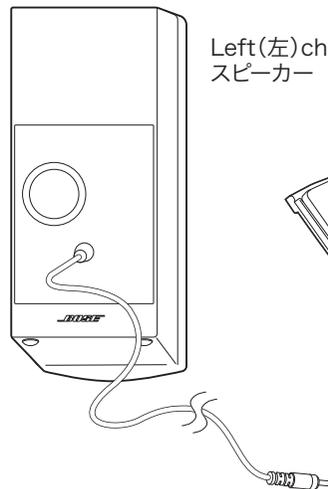
- ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性があります。事前にご確認のうえご使用ください。
- 付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。

各部の名称および機能 前面パネル

① VOLUME (ボリューム) つまみ [電源スイッチ付]

時計方向に回すと音が大きくなり反時計方向に回すと音が小さくなり、さらにカチッと言うまで回すと電源がOFFになります。

② ヘッドホン端子

φ3.5mmのステレオミニジャックが装備されています。ここにヘッドホンプラグを差し込むと自動的にスピーカーからの音は止まります。

各部の名称および機能 背面パネル

③ Left(左)chスピーカー用接続端子

Left(左)chスピーカーからのコードをこの端子に接続します。

④ 12V入力端子

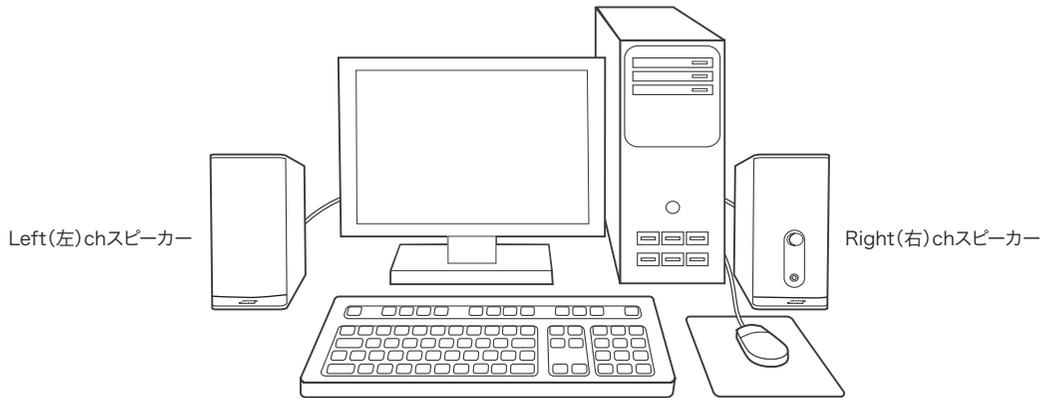
ACパワーパックからのプラグをここに差し込みます。確実に奥まで差し込んでください。

⑤ 音声信号入力端子

RCAピンジャックの入力端子です。Ⓐ、Ⓑ2系統の入力ができます。

⑥ ACパワーパック

商用電源100V 50Hz/60Hzに接続します。プラグアダプターをACパワーパック本体に取り付けて使用します。

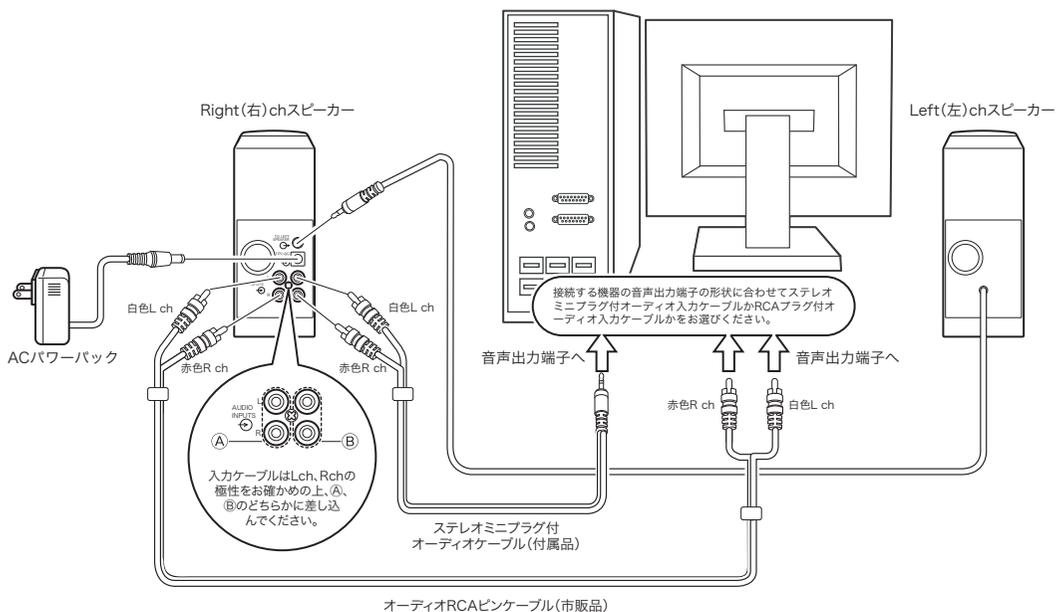
設 置 例

外部機器接続のしかた

※すべての接続が終わるまでは、ACパワーパックをコンセントに差し込まないようにしてください。
※電源を入れる前は、必ずボリュームつまみは、反時計方向に回してOffの位置にしておいてください。

音声信号入力端子に外部機器をつなぐとき

背面パネルの音声信号入力端子にオーディオピンケーブルを使って外部の機器を接続します。
※本機はアナログ音声入力のみの接続になります。デジタル信号やUSB接続はできません。

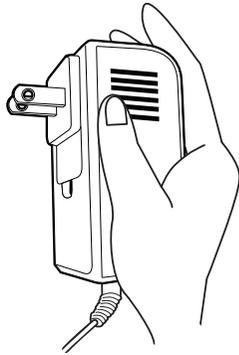
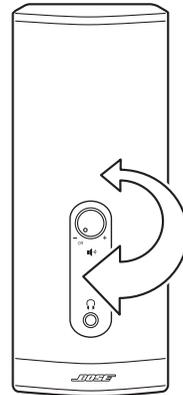
Ⓐ・Ⓑ両方の音声入力端子を使用する場合の音量のバランスについて

Ⓐ系統音声入力端子に入力する音の大きさと、Ⓑ系統音声入力端子に入力する音の大きさのバランス調整は、接続する機器のヘッドホン端子にケーブルを接続するなどして、それらの機器の音量調節機能を利用してください。

音量調節のしかた

※すべての接続が終わるまでは、ACパワーパックをコンセントに差し込まないようにしてください。

※スピーカーコードの接続に間違いがないかもう一度確認してください。

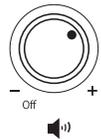
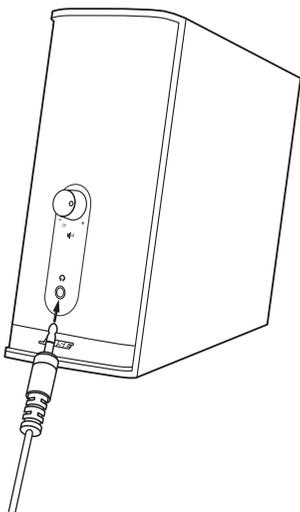
※電源を入れる前は、必ずボリュームつまみは、反時計方向に回してOffの位置にしておいてください。

ACパワーパックをコンセントに差し込みます。

ボリュームつまみを、時計方向に回すと音が大きくなります。反時計方向に回すと音が小さくなり、さらにカチッと言うまで回すと電源がOFFになります。

コンピューターに接続して使用するときの注意

コンピューターから出力される音声信号のレベルを調節します。

1. 本機の電源を入れて、ボリュームつまみを時計の2時の位置（右図）に合わせます。
2. コンピューターのサウンド調整やボリュームコントロールで、音が割れたり歪まないように一番大きな音が出るように、コンピューターを調節します。

   ※コンピューターの操作がわからない場合は、コンピューターのヘルプを見るか、コンピューターメーカーにお問い合わせください。

3. ボリュームつまみを回して、普段使う音量に調節してください。

ヘッドホンを使って楽しむとき

ヘッドホンのプラグを正面パネルのヘッドホン入力端子に挿入してください。プラグを差し込むと自動的にスピーカーの音が止まります。

⚠注意

ヘッドホンのプラグを抜く場合は抜いた時に急に大きな音が出ないように、ボリュームつまみを回して音量を下げてから行ってください。

⚠注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。あまり大きな音で長時間ご使用になりますと耳を傷める場合があります。耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

故障かな？と思ったら

症　状	原　因	処　置
音が出ない	接　続	●接続がすべて適切におこなわれていることを確認してください（8ページ）。
	電　源	●コンセントにAC100Vがきていることを確認してください。 ●ACパワーパックがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。 ●ACパワーパックがRight（右）chスピーカーの12V入力端子に確実に接続されていることを確認してください。
	信号源	●音源の機器から音声信号が出力されていることを確認してください。 ●入力される音声信号が小さすぎないことを確認してください。
	ボリューム設定	●ボリュームの設定が低すぎていないか確認してください。
	ヘッドホン	●ヘッドホンプラグが確実にヘッドホン入力端子につながれていることを確認してください（9ページ）。
片方の スピーカーしか 音が出ない	接　続	●Left(左)chスピーカーからのケーブルが確実にLeft(左)chスピーカー用接続端子につながれていることを確認してください（7、8ページ）。 ●オーディオピンケーブルあるいはステレオピンケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
	モノラル信号	●入力する音声信号を確認して、もしもモノラル（片チャンネルのみ）信号ならばモノラルステレオ変換アダプター等を使用して接続してください。 ※変換アダプターは、市販のものを別途お買い求めください。
音が歪んでいる	ボリューム設定	●入力する音声信号が大きすぎないように調節してください。 ●ボリュームを上げすぎないようにご使用ください。
スピーカーから ノイズが聞こえる	ボリューム設定	●入力する音声信号が小さすぎないように調節してください。
	端子部の 接触不良	●ピンジャックが汚れていないか確認してください。汚れている場合は汚れを取ってください。
	外部のノイズを ひろってしまう	●携帯電話や無線機器、電子レンジやインバーター式の照明機器などに近づけている場合は離してみてください。
	電源ノイズを ひろってしまう	●ACパワーパックを壁のコンセントに直接差し込むなど電源の取り口を換えてみてください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　サービスセンター　お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター　お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

仕　様

形式	アンプ内蔵スピーカーシステム
入力端子	RCAピン×2系統
ヘッドフォン出力端子	3.5mmステレオミニジャック×1
電源	AC100〜240V（50／60Hz）　※専用ACパワーパック使用時
外形寸法	81（W）×189（H）×192（D）mm（1本／ゴム足含む）
質量	1.05kg（右）、0.89kg（左／スピーカーケーブル1.8m含む）
カラー	Companion2 seriesⅡ（シルバーとグレーのツートンカラー）
	Companion2 seriesⅡBlack（ブラック）
付属品	専用ACパワーパック、専用100Vプラグ
	ステレオミニプラグ付オーディオケーブル（1.1m）×1

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル

● 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
● 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1348-M
11・11 (B)